

# 令和8年度定期作況報告

5月20日現在

道総研酪農試験場

## I. 気象概況

前年11月から、本年5月中旬までの気象の経過は、平年に比べておおむね次の通りである。

### 令和7年

- 11月：平均気温は上旬でやや低く・中旬で低く、下旬で高かった。降水量は上旬で極めて多く、中旬でやや少なく、下旬で平年並であった。日照時間は上旬で平年並、中旬でやや多く、下旬で平年並であった。根雪始は12月8日で平年より11日早かった。
- 12月：平均気温は上旬でやや高く、中旬で平年並、下旬で高かった。降水量は上旬で平年並、中旬で極めて多く、下旬で平年並であった。日照時間は上・中旬で平年並、下旬でやや少なかった。

### 令和8年

- 1月：平均気温は上・中旬で平年並、下旬で低かった。降水量は上旬でやや多く、中旬で平年並、下旬でやや少なかった。日照時間は上・中・下旬で平年並であった。
- 2月：平均気温は上旬で平年並、中旬でやや高く・下旬で極めて高かった。降水量は上旬で平年並、中旬でやや少なく、下旬で極めて多かった。日照時間は上・中旬で平年並、下旬でやや少なかった。2月20日の土壤凍結深は22cmで平年より1cm浅く、最深積雪深は61cmで平年より9cm浅かった。
- 3月：平均気温は上旬で高く、中・下旬でやや高かった。降水量は上旬でやや多く、中・下旬でやや少なかった。日照時間は上旬で少なく、中旬でやや少なく、下旬で平年並であった。
- 4月：平均気温は上・中旬でやや高く、下旬で平年並であった。降水量は上旬で多く、中旬で極めて少なく、下旬で少なかった。日照時間は上旬で平年並、中旬でやや多く、下旬で平年並であった。根雪終は3月31日で平年より2日早く、積雪期間は114日で平年より9日長かった。

### 令和8年

- 5月上旬：最低気温、最高気温ともに平年並で、平均気温は9.2℃で平年並であった。降水量は80.0mmで極めて多かった。日照時間は55.2時間で平年並であった。
- 5月中旬：最低気温、最高気温ともに平年並で、平均気温は9.8℃で平年並であった。降水量は0.5mmで少なかった。日照時間は64.3時間で平年並であった。

各旬の気象の特徴は上記の通りであるが、寒候期（11月～4月）を平均すると気温、日照時間および降水量は平年並であった。根雪始以降は1月下旬の気温は平年より低かったものの、それ以外の期間、特に2月以降は平年よりも高温傾向で推移した。この結果、積雪深は平年よりも浅く推移したが、土壤凍結は平年並であった。

季節調査

v	令和7年			令和8年					
	初雪 (月日)	根雪始 (月日)	最深積雪 (cm)	2月20日			根雪終 (月日)	降雪終 (月日)	耕鋤始 (月日)
				土壌凍結深 (cm)	積雪 (cm)				
本年	10.6	12.8	61	22	36	3.31	4.3	5.8	
平年	10.15	12.19	70	23	46	4.2	4.22	5.4	
比較	△ 9	△ 11	△ 9	△ 1	△ 10	△ 2	△ 19	4	

注1) 平年値は前10ヶ年平均値

2) △は減を示す

3) 最深積雪は根雪期間中の値

令和8年度 気象表

年	月	旬	平均気温(°C)			最高気温(°C)			最低気温(°C)			降水量(mm)			降水日数(日)			日照時間(時間)		
			本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
R7	11	上旬	4.7	6.0	△ 1.3	9.4	11.1	△ 1.7	-0.7	0.4	△ 1.1	119.0	33.5	85.5	6.0	2.8	3.2	48.6	42.5	6.1
		中旬	1.7	3.8	△ 2.1	7.1	8.6	△ 1.5	-3.4	-1.7	△ 1.7	2.0	20.4	△ 18.4	2.0	3.6	△ 1.6	61.7	47.3	14.4
		下旬	2.9	0.7	2.2	8.5	5.4	3.1	-2.7	-4.7	2.0	20.0	23.9	△ 3.9	3.0	3.1	△ 0.1	40.6	47.8	△ 7.2
	12	上旬	-0.6	-2.0	1.4	4.6	3.6	1.0	-6.2	-8.1	1.9	26.5	21.0	5.5	5.0	2.1	2.9	53.9	56.8	△ 2.9
		中旬	-4.2	-4.1	△ 0.1	0.5	0.9	△ 0.4	-10.6	-10.1	△ 0.5	83.5	7.2	76.3	3.0	1.9	1.1	45.7	52.2	△ 6.5
		下旬	-2.3	-4.9	2.6	1.6	-0.3	1.9	-7.8	-10.7	2.9	17.5	19.0	△ 1.5	6.0	2.0	4.0	37.4	54.3	△ 16.9
R8	1	上旬	-6.8	-6.5	△ 0.3	-1.7	-1.4	△ 0.3	-13.5	-13.2	△ 0.3	23.0	7.7	15.3	3.0	1.7	1.3	43.3	50.3	△ 7.0
		中旬	-5.6	-6.1	0.5	0.0	-1.3	1.3	-12.4	-12.5	0.1	13.5	10.2	3.3	4.0	2.5	1.5	52.7	48.1	4.6
		下旬	-8.3	-6.3	△ 2.0	-2.3	-1.8	△ 0.5	-16.8	-12.4	△ 4.4	3.5	18.4	△ 14.9	1.0	2.9	△ 1.9	59.1	51.1	8.0
	2	上旬	-6.6	-7.4	0.8	-0.5	-2.4	1.9	-14.3	-14.5	0.2	4.5	9.3	△ 4.8	1.0	1.7	△ 0.7	53.7	55.8	△ 2.1
		中旬	-3.7	-4.8	1.1	0.7	0.2	0.5	-9.8	-11.5	1.7	0.5	11.1	△ 10.6	1.0	1.4	△ 0.4	45.7	50.0	△ 4.3
		下旬	-0.5	-5.5	5.0	4.4	-0.4	4.8	-6.7	-12.8	6.1	42.0	6.4	35.6	4.0	1.5	2.5	33.2	52.4	△ 19.2
	3	上旬	-0.4	-2.8	2.4	2.0	2.1	△ 0.1	-3.4	-9.3	5.9	38.0	24.8	13.2	4.0	2.6	1.4	33.3	57.1	△ 23.8
		中旬	1.3	-0.5	1.8	5.0	3.9	1.1	-3.2	-5.5	2.3	1.0	18.7	△ 17.7	1.0	2.6	△ 1.6	43.9	56.7	△ 12.8
		下旬	2.2	1.2	1.0	7.8	6.4	1.4	-3.2	-4.4	1.2	3.5	21.5	△ 18.0	1.0	2.2	△ 1.2	66.4	71.4	△ 5.0
	4	上旬	5.0	3.1	1.9	10.5	8.3	2.2	-0.3	-1.8	1.5	43.5	21.0	22.5	6.0	3.3	2.7	50.7	57.6	△ 6.9
		中旬	6.5	5.2	1.3	13.9	11.3	2.6	-0.6	-0.1	△ 0.5	1.5	34.4	△ 32.9	2.0	3.3	△ 1.3	71.1	55.8	15.3
		下旬	6.6	6.5	0.1	13.2	12.7	0.5	-0.3	0.9	△ 1.2	4.5	30.0	△ 25.5	1.0	3.8	△ 2.8	62.4	60.1	2.3
	5	上旬	9.2	8.7	0.5	16.2	15.4	0.8	2.9	2.4	0.5	80.0	25.4	54.6	5.0	3.9	1.1	55.2	58.5	△ 3.3
		中旬	9.8	10.6	△ 0.8	17.3	17.4	△ 0.1	4.0	4.9	△ 0.9	0.5	17.1	△ 16.6	1.0	2.4	△ 1.4	64.3	65.2	△ 0.9

備考1) データはアメダス観測値(中標津). 平年値は前10ヶ年平均値.

## Ⅱ. 当 場 作 況

### 1. とうもろこし

作況: ー

#### 事 由

本年は根雪終が平年より2日早く、耕鋤始は5月8日で平年より4日遅かった。播種床造成作業は順調に進み、播種は平年より4日遅い5月20日に行われた。

品種名	播種日(月日)		
	本年	平年	比較
たちぴりか	5.20	5.16	4

注1) 酪農試定期作況圃場における調査結果に基づき、調査地点における平年との比較を示したもので、根釧地域全体の作況を表現しているものではない。

2) 当場のとうもろこし作況調査は、平成22年度より供試品種を「たちぴりか」に変更している。

3) 平年値：令和元年～令和7年のうち、最凶年と最豊年を除く5か年平均値。最凶年は令和4年、最豊年は令和7年であった。

4) △は減を表す。

## 2. 牧草

### (1) 採草型

#### チモシー単播

作況：1番草 平年並

#### 事由

根雪終が平年より早かったため、萌芽期は平年よりも2年目草地で3日、3年目草地で4日早かった。冬損状態は平年よりも2年目草地で0.2ポイント、3年目草地で1.0ポイント低く、総じてやや低かった。萌芽後の気温は平年並の推移をしたため、5月20日現在の草丈は、2年目草地で52cm（平年値は48cm）、3年目草地で51cm（平年値は49cm）であったことから、総じて平年並の生育である。

以上のことから、現時点での作況は平年並と判断される。

草地	草種	萌芽期(月日)			冬損状態(1-9甚)			5月20日草丈(cm)		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
「なつちから」2年目	TY単播	4/19	4/22	△3	1.0	1.2	△0.2	52	48	4
「なつちから」3年目	TY単播	4/21	4/25	△4	1.0	2.0	△1.0	51	49	2

- 注 1) 酪農試定期作況圃場における調査結果に基づき、調査地点における平年との比較を示したもので、根釧地域全体の作況を表現しているものではない。  
2) 平年値：令和元年～令和7年のうち、最凶年と最豊年を除く5か年平均値。2年目草地の最凶年は令和2年、最豊年は令和6年、3年目草地の最凶年は令和3年、最豊年は令和6年であった。  
3) △は減を示す。

(2) 放牧型  
メドウフェスク

作況：1番草 平年並

事由

根雪終が平年より早かったため、萌芽期は、平年よりも2年目草地で8日、3年目草地で7日早かった。冬損状態は、2年目草地で平年よりも1.4ポイント、3年目草地で1.3ポイント低かった。萌芽後の気温は平年並で推移したため、5月20日現在の草丈は、2年目草地で44cm（平年値は37cm）、3年目草地で30cm（平年値は31cm）と総じて平年並であった。

以上のことから、現時点での作況は平年並と判断される。

草地	草種	萌芽期(月日)			冬損状態(1-9基)			5月20日草丈(cm)		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
「まきばさかえ」2年目	MF単播	4/21	4/29	△ 8	1.0	2.4	△ 1.4	44	37	7
「まきばさかえ」3年目	MF単播	4/21	4/28	△ 7	1.0	2.3	△ 1.3	30	31	△ 1

注 1) 酪農試定期作況圃場における調査結果に基づき、調査地点における平年との比較を示したもので、根釧地域全体の作況を表現しているものではない。  
 2) 平年値：令和元年～令和7年のうち、最凶年と最豊年を除く5か年平均値。2年目草地の最凶年は令和元年、最豊年は令和6年、3年目草地の最凶年は令和3年、最豊年は平成5年であった。  
 3) △は減を示す。

## 令和 8 年度作況調査供試作物、品種および耕種概要

供試作物 および 品種名	1区 面積 (m <sup>2</sup> )	反 復	施 肥 量 (kg/10a)						栽 植 様 式	
			堆肥	炭カル	N	P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	K <sub>2</sub> O	MgO		
1.サイレージ用									畦間72cm	
とうもろこし	11.5	3	4,000	200	10+3	20	10	4	株間18cm	
「たちぴりか」									7,716本/10a	
2.牧 草										
(1)採草型										
TY「なつちから」	造成年	15.6	2	4000	300	10	23	14	8	30cm条播
	2年目	15.6	2	-	-	17	8	17	4	播種量
	3年目	15.6	2	-	-	17	8	17	4	1.5kg/10a
(2)放牧型										
MF「まきばさかえ」	造成年	15.6	2	4000	300	10	23	14	8	30cm条播
	2年目	15.6	2	-	-	17	8	17	4	播種量
	3年目	15.6	2	-	-	17	8	17	4	3.0kg/10a

1)サイレージ用とうもろこしは、品種比較試験の圃場。

2)牧草は、2、3年目草地を調査。採草型は年2回、放牧型は5回（各月1日）の刈り取り。

3)TY：チモシー、MF：メドウフェスク。